



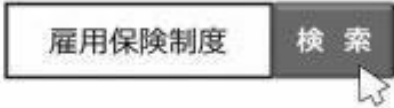
## 平成29年度「雇用保険料率」を引き下げるための法律案が国会に提出されました！

厚生労働省より平成29年4月1日以降の失業等給付の雇用保険料率を労働者負担・事業主負担ともに1/1,000ずつ引き下げるための法律案が平成29年1月31日に国会に提出されました。

併せて、雇用保険二事業の保険料率(事業主のみ負担)については引き続き3/1,000の予定です。

国会での審議スケジュールは未定ですが、仮に、法律案の内容が修正されずに国会で成立した場合、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの雇用保険料率は右表のとおりとなります。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。



平成29年度の雇用保険料率 (法律案が国会で成立した場合)

事業の種類	負担者		失業等給付の保険料率	雇用保険二事業の保険料率	①+② 雇用保険料率
	① 労働者負担 (失業等給付の 保険料率のみ)	② 事業主負担			
一般の事業	3/1,000	6/1,000	3/1,000	3/1,000	9/1,000
(28年度)	4/1,000	7/1,000	4/1,000	3/1,000	11/1,000
農林水産・ 酒造製造の事業	4/1,000	7/1,000	4/1,000	3/1,000	11/1,000
(28年度)	5/1,000	8/1,000	5/1,000	3/1,000	13/1,000
建設の事業	4/1,000	8/1,000	4/1,000	4/1,000	12/1,000
(28年度)	5/1,000	9/1,000	5/1,000	4/1,000	14/1,000

※枠内の下段は平成28年度の雇用保険料率

## 住工共生まちづくりワーキング実施報告

住工共生まちづくりワーキングは、区内最大の準工業地域である桜新町をモデル地区として、居住環境と操業環境が調和した「住工共生まちづくり」の推進に向け、継続的に話し合う場として、ものづくり産業を営む事業所の有志、世田谷区、世工振により平成23年に設立されました。

今年度は、平成27年度に検討した「住工共生地域における特徴、魅力について住民と事業者が共通認識を持てるようにする」というテーマに沿って、①住工共生まちづくり交流イベントの企画検討と、②桜新町事業所マップ(準工業地域)更新の検討を行いました。

平成28年度の交流イベントでは、例年の事業所見学に「防災」の視点を加えることとし、地域住民にとって身近な関心事である防災に関して、地元のものづくり事業所の存在が地域の安心につながることを理解してもらうことによって、共通の意識を高めていただく契機になるとの考えによるものであった。

事業所マップの更新については、来年度に「小学生記者による事業所取材」をとり入れて「桜新町事業所マップ」の更新を行うことになりました。



第4回住工共生まちづくりワーキングの様子

## 平成29年工業統計調査にご協力ください！

この調査は製造業を営む事業所に調査員が訪問し、聞き取りによる準備調査を行った後、調査票を配布します。調査においては5月から6月にかけて行われますので、調査へのご協力をお願いいたします。(この調査には「統計法」に基づく報告義務があります。)

【調査目的】我が国の工業の実態を明らかにし、工業に関する施策の基礎資料とするため。

【調査時期】平成29年6月1日(平成28年実績の回答をお願いします。)

【調査方法】5月中旬から調査員が訪問し、調査の依頼と聞き取りによる準備調査を行います。

従業員が4人以上の事業所に対してはその後、調査票の配布・回収を行います。

※調査員は東京都知事が任命する地方公務員です。顔写真付きの調査員証を携帯しています。

※調査票が配布される事業所には、5月上旬に東京都から調査協力依頼ハガキが送付されます。

【今回の主な変更点】・調査期日が6月1日に変更になりました。

・インターネット回答の導入を始めました。

【お問合せ先】世田谷区政策経営部 政策研究・調査課 統計担当 03-3425-6125

【経済産業省HP】<http://www.meti.go.jp/statistics/index.html>

ご協力お願いします！



工業統計キャラクター コウちゃん



# お知らせ



## 新規正会員をご紹介します

(敬称略)

### ❖株式会社 オズマプロデュース 代表取締役 小林 稔

〒154-0024  
世田谷区三軒茶屋2-51-34 カッサトレス1階  
電話 03-5433-3381  
業 種：【建設業/設備工事業】  
業務内容：携帯電話基地局工事、移動体無線工事、電話工事等の電気通信工事の設計施工等】

### ❖株式会社 タツミヤ 代表取締役 田中 康晴

〒156-0056  
世田谷区八幡山2-1-10-101  
電話 03-3304-3211  
業 務：【製造業/印刷、同関連業】  
業務内容：デザイン(グラフィック)、印刷全般(製品カタログ、会社案内、チラシ、名刺、帳簿類、封筒)

### ❖有限会社 相川合成樹脂工業所 代表取締役 相川 新太郎

〒158-0086  
世田谷区尾山台1-5-10  
電話 03-3701-3970  
業 務：【製造業/プラスチック製品製造業】  
業務内容：合成樹脂、真空成形加工、折り畳み採尿コップ、主に学童用

## 「ものづくり事業所のバス見学会」 世田谷のものづくりは魅力的でした！

春まだ浅く寒空の3月15日、見学者を乗せたバスは一路、(株)朝日プリンテック世田谷生産技術実験所さんに向かいました。実験所では、はじめに会議室で概要の説明を受け、“新聞づくり”に関するプチ情報を教えていただいた後、工場見学をしました。(プチ情報：朝日新聞は1879年に第1号を1銭で発売しました。現在に換算しますと250円~300円だそうです。)

次の見学地の(株)小原工業さんでは、“義肢づくり”について映像を見ながら教えていただきました。工場では、年代物の機械があり現在も現役で活躍中と驚かされました！また、女性の皆さんが活躍していました。地方から高校生もたくさん見学され“ものづくり”の継承にも力を注がれていると感じました。

事業所の皆様、お忙しい中、ありがとうございました。



(株)朝日プリンテックさんで見学



(株)小原工業さんで見学

## 「出前講座」で“浮沈子”の実験！

3月22日、東京では前日に桜の開花宣言がありました。北風が吹く中、区立桜町小学校において、新BOPの小学1年生から3年生の39名の児童が「たのしい子ども実験教室」に参加しました。新BOPとは、子育て家庭への支援とともに子どもの居場所を確保し、自由な遊びや体験・交流の場や仕組みをつくり、「BOP」と「学童クラブ」を統合した事業です。

NPO法人「くらりか」(歳前理科教室ふしぎ不思議)の4名の先生を迎え“浮沈子”の実験をしました。子どもたちは、ペットボトルの水の中で浮き沈みするふしぎな動きに驚き、真剣な眼差しで実験を楽しんでいました。これから理科の授業を楽しく学んでいかれることを期待したいと思います。(小学1年生、2年生では「理科」と「社会」が一緒の教科で「生活科」といいます。)

ご協力をいただきました皆様、ありがとうございました。



実験教室の様子



## 事業主の皆さんへ

世田谷区の「平成29年度上半期中小企業融資あっせん制度」のパンフレットが届きました。ご入用の際は、世工振事務局までご連絡ください。



## 編集後記

東京では3月21日に桜の開花宣言がありました。全国一早く、平年より5日早い開花で、本格的な春の到来が待ち遠しいこの頃です。先日、事業所バス見学会に行ってきました。高度成長期を経験されたであろう、年配の参加者は「ものづくりの凄さ」に大変驚いていました。「住工共生」への地道な努力、改めてその大切さを思った一日でした。(K・S記)